

2015年度

事業報告

認定こども園
五所川原こども園 五所川原保育園

平成27年度事業報告

宗教法人

日本基督教団五所川原教会

認定こども園

五所川原こども園五所川原保育園

【総括】

① 昨年も同様の書き方をしていましたが、保育園の一年を振り返ってみると、とにかく新制度の対応について振り回された一年であったように思います。保育所型認定こども園としてスタートしましたが、制度が確定しない中でのスタートであり、次々と途中で変更されるシステムについていくのがやっとといったところでした。

② この一年、新たな制度の中で、認定こども園として、この園の保育を考えてきたように思います。キリスト教精神に基づく保育に何ら変更を加える必要などないし、年齢差による交流を行うことによって、一層の保育の幅を広げ、豊かさを目指し行っている縦割り保育を始め、これまで大切にしてきたものをより充実させていくことが、一層求められていきます。保護者が自由に出入り出来ることのメリット、デメリットそれぞれあるとは追いますが、より可視化していくために、職員の資質向上にも取り組んでいきたいと思えます。

③ 今年度も、町内会長さんのお世話になり、園の北側の畑に枝豆、さつまいも、じゃがいも、スイカなどのたくさんの野菜の植え付けから、世話、収穫までを体験させていただき、良い学びとなりました。

④ 運営面では、途中入退園での動きがあり、56名でスタートし、最終的には69名で年度を締め括ることが出来、恵まれた一年ではありましたが、職員配置に係る計算の仕方の変更で困惑させられました。

出産する子どもの数が激減しているという実態の中でも希望してくださる保護者がいるということを考慮し、更に、職員配置を考える必要を感じました。まだまだ制度に伴う状況の変化に対応していくことは困難を覚えることではと思いますが、この数年が今後を左右すると思われるので、積極的な姿勢で取り組んでいきたいと思えます。

職員の異動として、19年務めてこられた齋藤咲子保育教諭が、一身上の都合により、三月末をもって退職された。

《運営方針》

・登園の保育の基本であるキリスト教精神（イエス・キリスト）に基づいて、今を生かされ、導かれ、守られていることの恵みを生活を通して伝えながら、感謝と希望を持って保育に携わる。

・地域に開かれた保育園として、保護者との信頼関係を築きつつ、常に職員の資質向上に励む。

《保育目標》

「あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～」

I 法人運営

1. 役員構成

役職名	氏名	備考
理事長	多勢 眞	
理事	三橋 一志	
理事	木村 孝次	
理事	三橋 大輔	
理事	小野 智栄子	
理事	塩見 登志子	
監事	本間 和夫	
監事	北澤 潤	

2. 理事会

第1回理事会 2015（H27）年5月31日
2014（H26）年度事業報告、決算報告

第2回理事会 2015（H27）年10月11日
第1回補正予算について

第3回理事会 2016（H28）年3月27日
第Ⅱ回補正予算と当初予算について
就業規則の見直しについて

3. 監事の監査

2016（H28）年5月 実施予定

II 施設運営

1. 施設事業運営 (1) 児童の処遇

ア. 園児クラス編成 (定員60名)

クラス名	年齢	園児数 (4月1日)
たんぼぼ組	0歳児	4名
すみれ組	I～2歳児	15名
ちゅうりっぷ組	3歳児	10名
ひまわり組	4～5歳児	27名
計		56名

イ. 健康管理

健康診断 実施状況

4月1日(水)・4月2日(木) 増田病院に於いて

ウ. 研修計画

① 各種外部研修への参加

② 内部研修

- ・事故防止・感染症等について研修
- ・職員間での保育カンファレンス研修

エ. 各種会議

職員会議 毎月2回 毎月1回 給食会議

2. 施設事業管理

(1) 園舎の補修等

一定年数を経過して使用に耐ええなくなった園舎の補修

(2) 災害対策

ア. 避難訓練

避難訓練 毎月1回 各種災害を想定して実施

総合訓練 年 2回 避難、消火、通報訓練を実施

イ. 防火設備の保守点検

年2回、業者による点検を実施

3. 地域等社会との連携

(1) 老人福祉施設訪問等

- ・くるみ園 ー 12月16日 (水)
- ・祥光苑 ー 12月17日 (木)

4. 苦情解決

当該園を利用する保護者やご家族等から頂いた苦情やご意見の適切な解決を図るため、苦情解決責任者を配置しているが、平成27年度に寄せられた苦情及びご意見はなかった。

- | | | |
|-----------|--------------|--------|
| ① 苦情解決責任者 | 園長 | 多勢 眞 |
| ② 苦情受付担当者 | 保育園業務 主任保育教諭 | 小野 智栄子 |
| ③ 第三者委員 | 教育理解者 | 佐々木 紀定 |
| ④ 〃 | 主任児童委員 | 阿部 悦子 |

5. 自主点検

- ・保育所独自の自主点検を実施した。

ア. 年齢別保育目標

平成 27 年度 教育及び保育全体の計画（0 歳児）

認定こども園 五所川原こども園 五所川原保育園

<p>年間目標</p>	<p>あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と体を育む。 ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情と信頼を持つことを通して人と関わる力を育む。 ・言葉に対する感覚や言葉で表現する力を培う。 		
<p>子ども達の姿と 育てたい 側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の大人との間に情緒的な絆を形成する。 ・聞く、見つめる、つかむ、振る、引っ張る、叩く、押すなどの感覚・運動的な遊びを通して、自分から関わっていき、外界への関心が広がる。 ・なん語などで自分の欲求を表現する。 <p>・十分に看護の行き届いた環境のもと、園児一人一人の生理的欲求を満たし、生活の心地よさ、自然のぬくもりを感じ、健康・安全・快適な生活を送ることを通して、保育教諭との愛着関係の築きから興味・関心・意欲への芽生えを育てていきたい。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい環境に慣れ、一人一人のリズムで安心して過ごす。 ・担当保育士との関わりを通して、園生活に慣れる。 	<p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活リズムが安定し、機嫌よく過ごす。 ・ふれあい遊びを通して、身近なものへの関心や遊びを広げていく。 	<p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを表現しながら、友だちと関わっていく楽しさを知る。 ・感覚や運動的な遊びを楽しむ。
<p>指導内容の 視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発育歴や発達を把握し、無理なく園生活を送られるように指導・援助する。 ・ベビーサインに応答するなど、共感的なコミュニケーションをとり、発語の意欲を促していく。 <p>・外気浴や散歩などを通して、健康増進を図り、外界への興味・関心が高まるように指導・援助する。</p> <p>・指遊び、リズム遊び、絵本、ふれあい遊びなどを通して五感が育まれるように促す。</p> <p>・「自分で」という気持ちを受け止め、出来た喜びに共感し、たくさん褒めるという援助をして、意欲の発達を促す。</p> <p>・ハイハイや伝い歩き、一人歩きの楽しさを受け止め、共感しながら、発達を促していく。</p>		
<p>環境の構成 (保護者の 関わり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めて集団生活に入れる保護者の気持ちを受け止め、安心できるような暖かい雰囲気作りや保健的・安全な環境を整え、子育ての大切さや喜びなどに共感し、信頼関係を築いていく。 ・食事や水分補給の提供について、具体的に知らせていく ・園内行事の多い時期である為、親子で安心して参加して楽しめる環境を保障する。 <p>・冬にかかりやすい病気について、クラスだよりや掲示板・口頭などを用いて正確な情報提供をする。</p> <p>・自我の芽生える時期の子どもへの接し方を具体的に伝える等、母親が子育てしやすい環境を整える。</p>		

平成 27 年度 教育及び保育全体の計画（1 歳児）

認定こども園 五所川原こども園 五所川原保育園

<p>年間目標</p>	<p>あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と体を育む ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情と信頼を持つことを通して人と関わる力を育む。 ・言葉に対する感覚や言葉で表現する力を培う。 		
<p>子ども達の姿と 育てたい 側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、押す、つまむ、めくるなど運動機能が著しく発達する。 ・見立てなどの象徴機能が発達する。 ・指差し、身ぶり、片言など盛んに使い、二語文を話し始める。 <p>・園児一人一人が、生活の心地良さ、人のあたたかさ、自然のぬくもりを感じることを出来る経験を通して、安心して自己表出する力を育てていきたい。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちを安心して表す。 ・保育教諭や新しい環境に慣れ、好きな遊びを見つけて楽しむ。 	<p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗いやトイレトレーニングを楽しむ。 ・自然の面白さに好奇心や興味を抱いて関わり、いたずら遊び（探索）を楽しむ。 	<p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な体験を通じて、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う。 ・身の回りのことをすすんでやってみようとする。
<p>指導内容の 視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人の気持ちを表情や態度からくみ取り応答するという指導・援助を通して、自己表出力の発達を促す。 ・一人一人の興味のあるものや好きな遊びを把握し、保育教諭も一緒に遊び、共感するという指導・援助を通して、集中力の育ちを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の「一人でやってみよう」とする意欲を十分に受け止め、一人で出来た満足感に共感・受容し、「やってみよう」という意欲の育ちを促す。 ・遊びの楽しさに共感する、見守るなどの指導・援助を通して、遊びを深めるなどの興味・関心の広がりや深まりを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の面白さを子どもと共感し合い、一緒に遊んだり、直接体験するなどの指導・援助を通して、生命の尊さの芽生えを促す。 ・園児一人一人の発達を見極め、少し引き上げると達成できそうな経験を準備しながら、子どもの一人で出来た満足感に共感・受容するという指導・援助を通して子どもの主体性を促す。
<p>環境の構成 (保護者の 関わり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できるような暖かい雰囲気作りや保健的・安全な環境を整え、初めて集団生活に入れる保護者の気持ちを受け止め、子育ての大切さや喜びなどに共感し、信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内行事の多い時期である為、親子で安心して参加して楽しめる環境を保障する。 ・家庭に於いても、子どもの楽しさに共感できるように、具体的な子育ての環境構成を提供・保障する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・だだこね・反抗の時期の子どもへの接し方や環境構成をすると共に、具体的な手立てを母親に伝え、子育てしやすい環境を整える。 ・冬にかかりやすい病気について、クラスだよりや掲示板・口頭などを用いて正確な情報提供をする。

平成 27 年度 教育及び保育全体の計画（2 歳児）

認定こども園 五所川原こども園 五所川原保育園

<p>年間目標</p>	<p>あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康な心と体を育む ・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情と信頼を持つことを通して人と関わる力を育む。 ・言葉に対する感覚や言葉で表現する力を培う。 		
<p>子ども達の姿と 育てたい 側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な運動能力が伸び、自然物や物の特性を知って遊ぶ。 ・基本的な生活習慣が形成される。 ・話し言葉の基礎ができ、盛んに質問するなど、知的興味や関心がたかまる。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣が形成され、身近な人との関わりにより言葉で表現する楽しさを味わい、そして、直接体験を通して生命に気づく力を育んでいきたい。 		
<p>ねらい</p>	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など、生活や遊びに必要な言葉を交わし合う。 ・十分に身体を動かして遊ぶことを楽しむ。 	<p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直接体験を通して、危険な遊びに気づく。 ・友だちと遊具や用具などを貸し借りしたり、順番を待ったり交替したりして、遊びを楽しむ。 	<p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にできる事に喜びを持ちながら健康・安全など、生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。 ・生活や遊びの中で、身の回りの色・数・量・形などに興味を持ち、違いに気づく。
<p>指導内容の 視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の主体性の芽生えに寄り添い、出来ない所はさりげなく手伝ったりしながら、「自分が自分の行動の中心になる」力の育ちを促す。 ・園児が様々な動的活動経験を通して、五感の発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児自身が自分から何かを始め、自分でそれと取り組み、その中に子ども自身が意味を見出し、自分自身が新たになっていく体験の中での直接指導・援助を通して、一人一人の発達を促していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が、お互いの成長を感じ、喜び合えるような援助・指導を通して、いきいきと生きていく為に必要な習慣が楽しみながら身に付くように、友だちと関わる力の育ちを促す。 ・教材提供・主題活動・及び自由遊び時の遊具・玩具の精査をし、興味の深まりを促す。
<p>環境の構成 (保護者の 関わり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など生活に必要な言葉や態度は、身近にいる大人（保育教諭や保護者）のモデル性が重要な人的環境であることを保護者にも伝え、保護者と連携しながら、子どもの育ちを培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児にとっての直接体験は、最も重要な教育環境であることを保護者に伝え、共通理解を持ち、お休みの日など家庭でも取り入れて頂くなど連携をとりながら、教育環境を整えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生命に関わることは、直接体験が重要であることを伝え、基本的な手立てを保護者に伝え、その子にとって望ましい指導・援助と一緒に考えたり工夫したりしながら、子育て環境を整えていく。

平成 27 年度 教育及び保育全体の計画（3 歳児）

認定こども園 五所川原こども園 五所川原保育園

<p>年間目標</p>	<p>あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全など、生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。 ・人との関わり合いの中で、人に対する愛情と信頼感、そして、人権を大切にすることを育てるとともに、自主強調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。 ・生活の中で言葉への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培う。 ・様々な体験を通じて、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う。 		
<p>子ども達の姿と育てたい側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全身のバランス能力が発達し、作ったり、描いたりためしたりする。 ・友だちとのケンカも多くなるが、仲間関係が強まり、決りの大切さに気付く。 ・絵本などにより、文字に興味を持ち読もうとしたり、感じたことを表現しようとする。 <p>・社会的な生活習慣が形成され、人のお話や会話から伝え合う喜びを感じ、自然や社会の事象に関心をもちながら生命への思いやりの力を育む。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの良さに気づき、つながりを広げ、集団で一緒に活動する楽しさを味わう。 ・様々な方法で自由に表現する。 	<p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな心情や思考力の基礎を培う。 ・生活の様々なものに触れ、その正確や仕組みに関心を持つ。 	<p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でできることに喜びをもちながら、健康・安全など生活に必要な基本的・社会的な生活習慣を身につける。 ・自然の中での直接体験を通して、生命への思いやりの心を育む。
<p>指導内容の視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児同士のトラブルでは、お互いの気持ちや言い分を受け止め、相手の気持ちにも気付いていけるように指導・援助し、信頼関係の築きを培う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の成長・発達を把握し、一人一人のどもの表現を引き出すように援助し、表現力の発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の成長を喜び、園児が自分の行動に自信と責任をもつことができるように指導・援助し、基本的・社会的な生活習慣の確立を促す。
<p>環境の構成（保護者の関わり）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児なりに試行錯誤を繰り返し、自ら発達に必要なものを獲得しようとする意欲や生活態度が豊かになることができるような環境構成を園と保護者が連携をとりながら、創造していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活の中で、自分の力で努力している姿を伝え、家庭でも『自分でしたがる』ことは時間的余裕をもつなど、子どもの育ちの為に環境を整えて下さるよう連携をとる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の自己肯定感がはぐくまれるような環境として話をしている子どもの表情や言葉を温かく受け止めることの重要性を保護者に伝え、連携をとりながら、園児にとってのより良い環境構成をしていく。
<p>一号認定児への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族以外の人（集団）と、初めて食事を一緒に食べることを経験することから、不安になる姿が予想される。このことについては、保育教諭が隣に座るなど、楽しく食べることができるように配慮する。 		

平成 27 年度 教育及び保育全体の計画（4 歳児）

認定こども園 五所川原こども園 五所川原保育園

<p>年間目標</p>	<p>あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全など、生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。 ・人との関わり合いの中で、人に対する愛情と信頼感、そして、人権を大切にすることを育てるとともに、自主強調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。 ・生活の中で言葉への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培う。 ・様々な体験を通じて、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う。 		
<p>子ども達の姿と育てたい側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中で主張したり、人の立場を考えられるようになる。 ・身近な自然や社会と生活の関わりに気づく。 ・身近な事物、数量や図形等に関心を持つ。 <p>・心の生活習慣が形成され、人との関わりを深めて心を通わせあい、自然や社会や生活との関係に気づきながら生命へのいたわりの心を育む。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・様々なものの面白さ・不思議さ・美しさに感動する 	<p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所や災害時などの行動の仕方がわかり、安全に気をつけて行動する。 ・科学する心を育む。 	<p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良い事や悪いことがある事に気づき、考えながら行動する。 ・日常生活に必要な事物の性質や存在に興味をもったり、数・量・形などへの関心を深める。
<p>指導内容の視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりの行動があった時には、認めて褒めるという指導・援助をとおして、自己肯定感が培われるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児一人一人の成長・発達を見極めて直接指導及び援助をすることを通して、生命の大切さを理解し、自分の生命も他の生命も同じく尊ぶ力の育ちを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数・量・形などへの関心を深める為の、教材提供・主題活動・及び自由遊び時の遊具・教具の精査をし、知的好奇心・知的探究心の深まりを促す。
<p>環境の構成（保護者の関わり）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児なりに試行錯誤を繰り返し、自ら発達に必要なものを獲得しようとする意欲や生活態度が豊かになることができるような環境構成を園と保護者が連携をとりながら、創造していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分には出来る」という自信が育まれるように、子ども自らの意志でやりはじめ、そして、自らの意志でやり終える経験や直接体験の環境構成をし、保護者と共通理解をもちながら、子育てを見守る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児の自己肯定感をはぐくまれるような環境として話をしている子どもの表情や言葉を温かく受け止めることの重要性を保護者に伝え、連携をとりながら、子どもにとってのより良い環境構成をしていく。
<p>一号認定児への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己中心性の強い年齢であり、特に入園時は慣れにくいことが予想される。この事に対しては、保護者と連携を密にし、当該児に負担のかからないように、計画立案をする。 		

平成 27 年度 教育及び保育全体の計画（5 歳児）

認定こども園 五所川原こども園 五所川原保育園

<p>年間目標</p>	<p>あふれる愛 ～ 一人一人とつながる ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全など、生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。 ・人との関わり合いの中で、人に対する愛情と信頼感、そして、人権を大切にすることを育てるとともに、自主強調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。 ・生活の中で言葉への興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力の基礎を培う。 ・様々な体験を通じて、豊かな感性を育て、創造性の芽生えを培う。 		
<p>子ども達の姿と育てたい側面</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで人と関わり、人の立場を理解して行動するようになる。 ・思考力や認識力が高まり、文字などへの興味関心が高まる。 ・環境と自分達の生活との関係に気づき、遊びを展開する。 <p>・基本的・社会的・心の生活習慣の確立を培い、人と助け合うことの必要性を理解し、自然や社会と生活との関係を認識しながら生命を尊ぶ心を育む。</p>		
<p>ねらい</p>	<p>1 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする。 ・人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験した事や考えた事を話し、伝え合う喜びを味わう。 	<p>2 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的探究心を深め、創造性を培う。 ・自分の目標に向かって努力し、様々な運動を積極的にしようとする。 ・自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。 	<p>3 学期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校に向かって期待感を持ち、自信と積極性を持って生活できる力を育む。 ・友だちを尊重する心を培う。 ・外国人など、自分とは異なる文化を持った人に関心をもち、関心を持つ。
<p>指導内容の視点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共感・提案・見守る指導・援助を通して、子どもが新たな発見をしたり、どうすればもっと面白くなるかを考えたりするという、知的好奇心の深まりを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で周囲の環境に関わり、その意味や操作の仕方に関心をもち、物事の法則性に気づき、自分なりに考えることができるように、知的発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が小学校に対して安心感と期待感を持ち学び、生活する等、小学校教育と円滑な接続ができるように、近隣の小学校と交流活動をする経験や・継続的な計画（指導・援助）を通して、促す。
<p>環境の構成（保護者の関わり）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児なりに試行錯誤を繰り返し、自ら発達に必要なものを獲得しようとする意欲や生活態度が豊かになることができるような環境構成を園と保護者が連携をとりながら、創造していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有能感・レジリエンスの育ち・能動性の発達が支えられるように、職員と保護者が共に学び、連携を取りながら、子どもの育ちの環境を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では、教師が教えるだけでなく、児童が自分で調べるなどの主体的な学習・合科的な学習を重視していることについて、保護者と共通理解を持ち、小学校の生活や学習を見通した園の環境・家庭環境を構成する。
<p>一号認定児への配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育時間の差を考慮しながら、他児と多様な関わりを持つことができるような指導・援助をし、自分も他児も生き生きとするような関係性を築いていくことができるように配慮する。 		

イ. 健康管理

① 健康診断 内科検診 4月 28日、 10月 7日
 歯科検診 5月 12日、 10月 20日

② 発育測定 毎月実施

ウ.安全管理

不審者侵入防犯避難訓練 年 1 回実施

エ.栄養管理

荷重平均食糧構成表

区分	穀類	いも類	砂糖類	油脂類	豆類	魚介類	肉類	卵類	乳類	野菜類		果実類	備考
										緑	そ		
目標	23	22	3	3	18	18	15	15	123	30	45	50	
実施	32	29	4	2	24	21	17	8	110	66	75	99	

オ.年間行事

月	行	事
4	1 日—入園式	28 日—内科検診
5	1 日—子どもの日の集い 23 日—ふれあい保育参観日	8 日—母の日の礼拝 12 日—歯科検診
6	12 日—花の日の礼拝 19 日—父母の会	16 日—総合避難訓練 27 日—親子バス遠足
7	7 日—七夕の集い	18 日—なつまつり
8	異年齢児交流保育	21・22 日—おとまり保育
9	12 日—運動会	15 日—小遠足
10	2.3 日—自由保育参観日 31 日—作品展・バザー	7 日—内科検診 20 日—歯科検診
11	19 日—父母の会 20 日—収穫感謝礼拝	
12	12 日—クリスマス祝会	
1	20 日～29 日—郵便ごっこ	23 日—餅つき参観日
2	3 日—豆まき	22 日—不審者侵入防犯避難訓練 26 日—父母の会
3	2 日—お別れ会 4 日—卒園礼拝	3 日—ひなまつりの集い 12 日—卒園式 14 日—総合避難訓練

職員の構成 (平成 27 年 4 月 1 日～)

職 名	氏 名	職務分担	副担者
園 長	多勢 眞	1. 人事管理の職務 2. 文書管理の職務 3. 財産管理の職務 園関係行政機関・団体個人等 対外的職務	小野 智栄子
主 任 保育教諭	小野 智栄子	1. 園長と保育現場との連絡・保 育現場の調整 2. 保育計画立案のまとめ 3. 保育用具の管理 4. 保育事務の職務 5. その他	齋藤 富美子
保育教諭	齋藤 富美子 齋藤 百代 葛西 久美子 齋藤 咲子 中野 友湖 野呂 由貴	1. 保育計画の立案 2. 保育児童出欠の点検 3. 保育日誌の記録 4. 児童表の整理 5. 家庭連絡と訪問 6. その他	(準職員) 【たんぽぽ】 齋藤 舞 毛内 望恵 【すみれ】 館山 タ子 【フリー】 成田 聖子・山内 理香子 【延長保育】 工藤 敏恵
調理員	須藤 静子 三森 環 (準職員)	1. 献立表の立案 2. 給食日誌及び実施・献立表の 整備記帳 3. 給食物資受払の記帳 4. 給食物資の購入 5. その他	塩見 登志子
事務員	塩見 登志子	1. 事務処理の職務 2. 園長の命に従い指示された 職務	
嘱託医 歯科医	増田病院 高満歯科	※園児の健康診断並びに保健 助言	

2016年度

事業計画

認定こども園
五所川原こども園 五所川原保育園

平成28年度 事業計画書

宗教法人

日本基督教団五所川原教会

認定こども園

五所川原こども園五所川原保育園

【運営方針】

保育制度の変革の中にあっても、地域に開かれた保育園として、保護者との信頼関係を築きつつ、常に職員の資質向上に励む。

【保育理念】

1. ひとりひとりの子どもが神さまにまもられていることを感謝し、共に喜びをもってすごす。
2. すべての生命を喜び、共に生きる力を培う。
3. ひとりひとりの子どもの個性を尊重し、その中で個性が活かされ、共に創造性を培う。

(重点課題)

- ① 年々少子化が続く中で、入園する子どもの人数が懸念されるが、長い伝統が培ってきた、子どもや保護者への「暖かい思いやり」や「職員の行き届いた対応と明るさ」によって、地域に信頼される教育・保育を継続していく。
- ② 多様化する社会の変化に対応した形で、当園に出来る子育て支援事業を考え、日々の保育を充実していく。
- ③ 財政的な厳しさを脱する為に、無理な経費節減を考えるよりも、働きやすい環境を整備することで、多くの保護者に選んでもらえる園を目指していく。
- ④ 新制度がスタートし、認定こども園としての歩みがスタートしました。運営面でシステムとして確定していない部分が多いのですが、様々な変化に対応出来るように教会、職員間での意思疎通を図りながら進めていく。

I 法人運営

1. 役員構成

役 職 名	氏 名	備 考
理 事 長	多 勢 眞	
理 事	三 橋 一 志	
理 事	木 村 孝 次	
理 事	三 橋 大 輔	
理 事	小 野 智 栄 子	
理 事	塩 見 登 志 子	
監 事	本 間 和 夫	
監 事	北 澤 潤	

2. 理事会

理事会は、年3回開催する予定としている。

5月 決算報告

1月 補正予算

3月 補正予算、当初予算、次年度事業計画

3. 監事の監査 5月中旬予定

II 施設運営

1. 《運営目標》

保育制度の変革の中にあっても、地域に開かれた保育園として、保護者との信頼関係を築きつつ、常に職員の資質向上に励む。

- ① ひとりひとりの子どもが神に守られていることを感謝し、共に喜びをもって過ごす。
- ② すべての生命を尊び、共に生きる力を培う。
- ③ ひとりひとりの子どもの個性を尊重し、その中で個性が生かされ、共に創造性を培う。

2. 施設事業運営

(1) 児童の処遇

ア. 園児クラス編成 (定員60名)

クラス名	年 齢	園児数 (4月1日)
たんぼぼ組	0歳児	1名
すみれ組	1～2歳児	20名
ちゅうりっぷ組	3歳児	10名
ひまわり組	4～5歳児	24名
		55名

イ. 健康管理

健康診断

職員 年 1 回実施

園児 年 2 回実施

ウ. 研修計画

① 各種外部研修への参加

② 内部研修

感染症対策と事故防止、及び、不審者侵入対応についてマニュアル等を用いて学ぶ
 保育カンファレンス

・保育実践事例の研修から望ましい保育のあり方を探る

エ. 各種会議

職員会議 毎月 2 回

給食会議 毎月 1 回

3. 施設事業管理

(1) 園舎の補修等

老朽箇所の補修

(2) 災害対策

ア. 避難訓練

避難訓練 毎月 1 回 各種災害を想定して実施

総合避難訓練 年 2 回 避難、消火、通報訓練を実施

不審者侵入防犯避難訓練 年 1 回 侵入対策、通報、避難訓練を実施

イ. 防火設備の保守点検

年 2 回、業者による点検を実施

ウ. 大掃除

年 2 回

エ. 安全管理

交通安全指導 ⇒ 状況により適時に行う

不審者による声かけへの対応 ⇒ 状況により適時に行う

オ. 栄養管理

荷重平均栄養所要量

区 分	エネルギー	蛋白質	脂 質	カルシウム	鉄	ビ タ ミ ン			
						A	B 1	B 2	C
1～2歳児	5 2 5	1 8	1 3	2 2 5	2 . 3	2 0 0	0.25	0.30	1 8
3～5歳児	4 2 3	2 0	1 5	2 6 7	3 . 5	2 2 5	0.29	0.35	1 8

カ. 年間行事

月	行 事	備 考
4	入園式	
5	子どもの日の集い 内科検診 母の日の礼拝 歯科検診 ふれあい参観日	
6	花の日の礼拝 親子遠足 総合避難訓練 父母の会	
7	七夕の集い なつまつり	
8	異年齢児交流保育 お泊り保育	
9	運動会 小遠足	
10	自由参観日 内科検診 歯科検診 作品展・バザー	
11	収穫感謝礼拝 父母の会	
12	クリスマス祝会	
1	郵便ごっこ 餅つき参観日	
2	豆まき 不審者侵入防犯避難訓練 父母の会	
3	ひなまつりの集い 卒園礼拝 お別れ会 総合避難訓練 卒園式	
備考	※ 今年度より、毎月のお誕生会に誕生児童の保護者を招待し、一緒にお祝いすることとする。	

4. 苦情解決

社会福祉法第82条（昭和26年3月29日法律45）及び、児童福祉施設最低基準（昭和23年12月29日厚生省令第63号）第14条の2の規定に基づき、当園が提供する保育や入園児童の処遇に係る入園児本人及びその保護者からの苦情等に適切、且つ、誠実に対応し、円滑・円満な解決を図る。

具体的には、苦情を解決するために、苦情受付担当者及び第三者委員が「苦情の受付」にあたり、苦情受付票を作成し、写しを苦情申出者に渡すものとする。苦情解決責任者は苦情の円滑・円満な解決のために、状況の調査・把握に努め、改善を図るなど適切な対応をする。そして、苦情に係る結果を苦情申出者・第三者委員・理事会及び関係機関に報告する。更に、苦情解決結果を公表するものとする。

苦情処理体制は次の通りです。

- | | | |
|-----------|-----------------|-----------------|
| ① 苦情解決責任者 | 園長 | 多勢 眞 |
| ② 苦情受付担当者 | 保育園業務 主任保育教諭 | 小野 智栄子 |
| ③ 第三者委員 | 教育理解者
主任児童委員 | 佐々木 紀定
安部 悦子 |

職員の構成 (平成 28 年 4 月 1 日～)

職 名	氏 名	職務分担	副担者
園 長	多勢 眞	1. 人事管理の職務 2. 文書管理の職務 3. 財産管理の職務 園関係行政機関・団体個人等 対外的職務	小野 智栄子
主 任 保育教諭	小野 智栄子	1. 園長と保育現場との連絡・保 育現場の調整 2. 保育計画立案のまとめ 3. 保育用具の管理 4. 保育事務の職務 5. その他	齋藤 富美子
保育教諭	齋藤 富美子 齋藤 百代 葛西 久美子 中野 友湖 野呂 由貴 齋藤 舞	1. 保育計画の立案 2. 保育児童出欠の点検 3. 保育日誌の記録 4. 児童表の整理 5. 家庭連絡と訪問 6. その他	(準職員) 【たんぼぼ】 館山 タ子 【すみれ】 毛内 望恵 【フリー】 山内 理香子・成田 聖子 【延長保育】 工藤 敏恵 【学童保育】 多勢 貴子・原田 文江
調理員	須藤 静子	1. 献立表の立案 2. 給食日誌及び実施・献立表の 整備記帳 3. 給食物資受払の記帳 4. 給食物資の購入 5. その他	塩見 登志子 (準職員) 三森 環
事務員	塩見 登志子	1. 事務処理の職務 2. 園長の命に従い指示された 職務	
囑託医 歯科医	増田病院 高満歯科	※園児の健康診断並びに保健 助言	

2016年度 (平成28年度) クラス担任

クラス名	年 齢	担 任 名	備 考
たんぽぽ 組	0.1 歳児	中野 友湖 舘山 夕子	
すみれ 組	1.2 歳児	齋藤 富美子 齋藤 舞 毛内 望恵	
ちゅうりっぷ 組	3 歳児	葛西 久美子	
ひまわり 組	4.5 歳児	(4 歳児) 野呂 由貴 (5 歳児) 齋藤 百代	
<p>《付 記》</p> <p>【フリー保育教諭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成 田 聖 子 ・山 内 理香子 <p>【延長担当保育教諭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工 藤 敏 恵 <p>【学童保育担当】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多勢 貴子 ・原田 文江 (山口 恵美) 			

2016 年度

研修計画

月	研 修 名	参加者氏名
5 月 16 日 ～ 5 月 17 日	キリスト教保育所同盟 一泊研修会	園長 小野 智栄子 齋藤 百代
6 月 6 日 ～ 6 月 7 日	キリスト教保育連盟 奥羽部会 園長・主任研修	園長 小野 智栄子
7 月 25 日 ～ 7 月 27 日	キリスト教保育連盟 夏期講習会 (軽井沢)	園長 齋藤 百代
8 月 18 日 ～ 8 月 19 日	キリスト教保育連盟 奥羽部会夏期研修会 (秋田)	齋藤 富美子 葛西 久美子
1 月 4 日 ～ 1 月 5 日	キリスト教施設 職員研修会	中野 友湖 野呂 由貴

*その他の正職員・準職員は、西北五地区等地域での研修に参加することとする。